

TOYOTA GAZOO Racing 86/BRZ Race 2019

Rd,5 富士スピードウェイ OTGMotorSports REPORT

OTG MotorSports 86/BRZ Race in 富士スピードウェイ

7/6～7日で86/BRZ Race 第5戦が富士スピードウェイで開催された。今回は、ブランパンGTワールドチャレンジアジアとの併催レースとなっており、今大会は、1ヒート制で行われた。

1ヒート制の場合、予選1回、決勝1回で行われる為、2ヒート制よりタイヤの摩耗などは少ないが、1回の決勝に向けてのセッティングやタイヤマネージメント・ドライビングなどよりアグレッシブな戦いが可能になる。

梅雨の真ただ中、水曜日からの練習走行は雨が降り続き、ウェット状態での走行が続いたが、週末は梅雨も一休みとなり、土曜日の予選ではハーフウェット状態となった。

雨が降りそうで降らない状況の中で、OTGの三台は、コースオープンと共にコースイン、3台が数珠つなぎになりアウトラップを周回してタイヤに熱を入れていく。

86レースでは、風の抵抗を受けないように他車の後ろに入るか（スリップストリーム）がタイムに置いて重要であり、3台のOTGは、お互いにスリップを使いながらタイムを出す事が可能になる。

そんな中、単独走行気味ではあったが、60号車3番手、80号車5番手と好位置につける。10号車は直線の伸びが今一つで14番手となった。

クラブマンクラスの777号車は10番手。

翌決勝日は、雨もやみ時折晴れ間も見える天候となり路面はドライ状態。

また、路面温度も35℃とダンロップタイヤにとっては絶好のコンディション。

前戦同様、OTGモータースポーツの表彰台獲得が期待された。

まずは777号車山崎のクラブマン決勝。スタートから3周目、ダンロップコーナーの入り口でオーバースピードで進入をしてしまい、他車との接触によりコース上でストップ…走行不能となりリタイヤとなった。

そして表彰台が期待されるプロクラス。

好スタートを切った3車。だがスタート直後の場内放送で60号車がスタート位置違反（スタート時の停止線より前に車がでていた）によるドライブスルーペナルティのコールが…残念ながら服部は戦線離脱。27位の結果。

すると6周目、80号車宮田の動きがおかしい。コーナー手前のブレーキング時にタイヤスモークが上がる。このまま走行すると他車へ危険が及ぶと判断した宮田はGRスーパーカーで車を止めそのままリタイヤ…

10号車菅波は直線の伸び不足をコーナーテクニックでカバーし、何とかポイント圏内の9位でフィニッシュ。

相性の良い富士スピードウェイで、好位置スタートただだけに残念な結果となってしまった第5戦。

次戦の巻き返しを期待する。

TOYOTA GAZOO Racing 86/BRZ Race 2019
Rd,5 富士スピードウェイ OTGMotorSports REPORT

